

ヒラメ種苗体験放流（鷺泊港）



活ヒラメを見せてもらう



ヒラメの成長



ヒラメの観察



やさしく放流



記念撮影

- (1) 日時 平成21年8月27日 13:00～14:30
- (2) 場所 利尻富士町 鷺泊港
- (3) 主催 宗谷管内漁業士会 (5名)
- (4) 対象 利尻富士町立鷺泊小学校 1・2・5年生 40名
- (5) 目的
 - ・ 水産業・漁村に対する小学生の理解を促進するために実施。
- (6) 内容
 - ・ 宗谷管内栽培魚漁業推進協議会が放流事業を実施しているヒラメ人工種苗の一部を、近隣の小学生がバケツ放流した。
 - ・ 放流の前には、利尻漁協で畜養している活ヒラメを見学。佐々木青年漁業士から生徒へ、ヒラメの変体(目の移動)や成長について説明したほか、「ヒラメは放流された浜辺のそばで育ち、産卵をします。おじさん達漁師は、放流の他にも、小さなヒラメが獲れたら海に戻すなど、資源を守るためにいろんなことをしています。ヒラメやウニ、コンブなどが元気に育つ、豊かな海を大切にしたい」とメッセージも伝えた。
 - ・ 参加した小学生は、漁業士の手で暴れる活ヒラメや、説明された内容に歓声を上げるなど、魚や海への興味を示していた。